全国の島々が集まる祭典
「アイランダー２０１３」出展報告

祝島　國弘　秀人

11月23日（土）、24日（日）の2日間、東京・池袋のサンシャインシティで、「アイランダー２０１３」というイベントが開催されました。

「アイランダー」は、島で生活する人、島を愛する人、島の発展を応援する人という意味合いのもとに、公益財団法人 日本離島センターが、平成6年から毎年開催しているイベントです。都会に住む方々の「離島のことをもっと知りたい」という要望に応えるため、全国の離島が一体となって島々の持つ素晴らしさを情報発信し、交流人口の増加やU・Iターンの促進などを通して離島の活性化を図ることを目的としています。

「アイランダー２０１３」には、全国から77団体、約200の島々がブースを出展し、それぞれの島の紹介や特産品販売、人材募集などの情報発信を行いました。2日間での来場者数は、およそ1万3千人でした。

祝島からも初めてブースを出展し、島の魅力を都会の皆さんに知っていただくため、さまざまなＰＲ活動や特産品の販売を行いましたので、その報告をさせていただきます。

◎祝島ブースの紹介

今回初参加の祝島ブースは、ボランティア団体「祝島ネット21」の会員が中心となって出展しました。祝島からは2名が参加し、関東在住の「祝島ネット21」会員3名に手伝っていただきました。初日には、ステージイベントにも出演いただいた祝島出身の歌手・瀬戸こうじさんとマネージャーさんにも、祝島ブースのお手伝いをしていただきました。

今回の出展のために、祝島のパンフレットを2千部以上用意し、ポスターや展示用写真なども準備しました。また、島から借りてきた大漁旗もブースを賑やかに演出してくれました。

販売では、祝島特産のびわ茶をはじめ、島の漁師さんが作った木工品、祝島オリジナルのカレンダーやポストカード、切手、ステッカーなどを販売いたしました。

また、祝島の情報を発信するメールマガジンの会員登録をされた方には、祝島の海岸で拾ったシーグラスをプレゼントし、なかなか好評でした。

祝島ブースの出展メンバー

祝島ブースの全景

祝島ブースには、一般の来場者もたくさん来られましたが、東京近郊に住む祝島出身者の方も数多く訪ねて来られました。皆さん、東京で祝島の雰囲気を感じられることをとても喜んでおられました。今回の出展をきっかけに、東京周辺で祝島のつながりが広がったり、島にUターンする人が増えてくれると、とてもうれしいです。

◎アイランダーステージ

会場内に用意されたステージ上では、各島それぞれ15分以内で島のアピールを行いました。島のＰＲや伝統芸能など、工夫を凝らしたステージが会期中2日間に渡って繰り広げられました。

23日の午後に行われた祝島のステージでは、島の魅力を集めたスライドショーをモニターに映しながら、私が祝島の歴史や観光スポットを紹介した後、瀬戸こうじさんに、オリジナルソング『祝島讃歌』を歌っていただき、会場を大いに盛り上げていただきました。

ステージで祝島の魅力をアピール

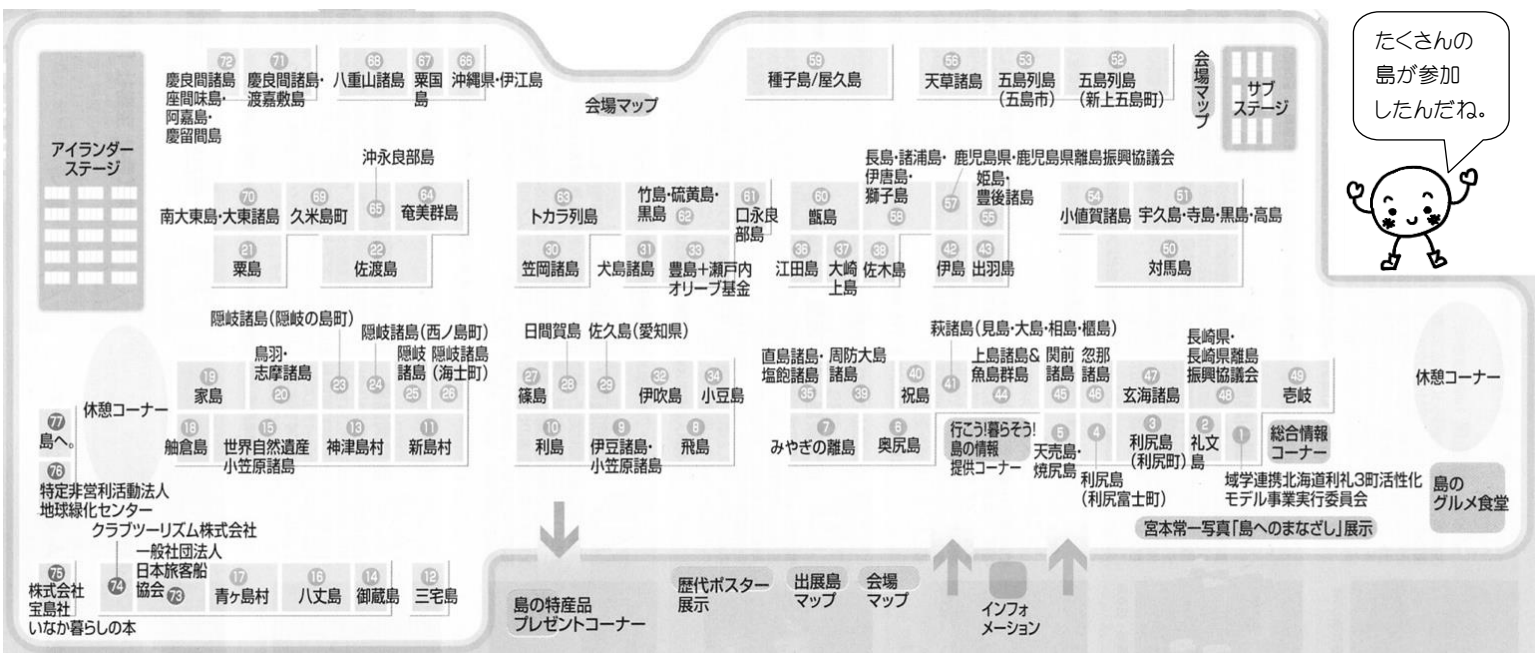
『祝島讃歌』を熱唱する瀬戸こうじさん

◎初出展の感想

「アイランダー」は自分たちの島のＰＲができるイベントであると同時に、他の島でどのような取り組みがされているかを知ることができ、さらに、その島の人に直接お話が聞ける貴重なチャンスでもあります。多くの島が、少子高齢化や仕事不足に悩んでおり、それをどうにかして克服していこうと頑張っています。このイベントに参加することで、とても刺激を受けました。さまざまな島のアイデアや取り組みの中に、祝島および上関町全体の明日を切り拓くヒントがあるような気がします。

今回の出展は、たくさんの方々の応援やご協力をいただいて実現しました。この場を借りてお礼申し上げます。この経験を活かして、よりよい島づくりに貢献できればと思っています。できれば来年もぜひ参加したいと思います。

◎「アイランダー２０１３」会場マップ



※「アイランダー２０１３」公式サイト
http://www.i-lander.com/2013/

◎「わいわいタイムス」1月号は1月12日（日）発行予定です。